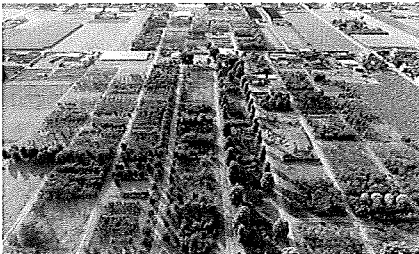


グリーン ダイバーシティ

Greendiversity® をコンセプトに緑が持つ可能性を追求、造園業の枠を超え様々な事業を展開するチャレンジ企業。

株式会社山梅(以下「山梅」と記します。)は太田地区において、樹木生産・流通、企画設計(プランニング)、造園工事、緑地メンテナンス、公園運営管理を営んでいます。

山田通明社長の祖父(山田梅二郎さん)が昭和16年に「山梅農園」という屋号で個人商店を創業したのが始まりです。



〈広大な自社農場〉

樹木販売から造園土木へ

創業時は自らが栽培、または他から買入れた樹木を「市(いち)」で売る樹木販売業を主に行っていました。

その後、先代の社長(山田忠雄会長)が造園土木業に進出することを決断、昭和51年に自社農場での樹木生産と造園土木工事を事業の両輪とする「山梅造園土木株式会社」を設立しました。バブル経済の崩壊などのため、紆余曲折を経ながらも、事業を拡大することができました。

公園管理事業

平成18年度には、群馬県の施設である「ぐんまこどもの国」の管理と運営を代行する指定管理者に選定され、新たに公園管理の仕事に乗り出しました。

地域社会への貢献と事業の多角

化(緑のメンテナンス等)を図るためのものですが、これにより「緑の生産・設計・施工・メンテナンス」という一貫体制が整い、他社にはない山梅の強みが確立されました。

緑の多様性の追求

現社長が社長に就任した平成27年には、社名を「株式会社山梅」に変更するとともに、会社の方向性を示す「Greendiversity® 緑の多様性」というスローガンを掲げました。「緑の一貫体制」を構築した山梅が造園土木業の枠を超え、緑の持つ多様性を具現化することで、社会と地球環境に貢献しているという社長の覚悟と情熱を感じることができるスローガンです。具体的には健康オフィスをテーマとする緑を使った職場の環境づくりやゲンジボタルの観察会、里山の再生などに取り組んでいます。

労働基準協会連合会長表彰

昨年7月、群馬労働基準協会連合会は山梅を労働安全衛生に関する水準が良好で優秀な事業場と認め、連合会長表彰を授与しました。労働災害が発生していないことに留まらず、安全衛生活動に積極的に取り組んでいることが高く評価されました。



〈安全パトロールの状況〉

年間計画の作成、外部コンサルタ



〈会社のシンボル 森の語り場〉

ントによる安全パトロール、安全衛生委員会の確実な実施とPDCA、5S活動、交通事故防止、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を利用した現場管理や労働時間管理などに取り組んでいます。

もう一つのダイバーシティ

山梅では女性の活用等を積極的に行うため、従来からワークライフバランスを推進してきました。特に、RPAを使いこなし、事務処理の自動化、効率化を図ったことが功を奏しています。

午後6時には帰宅できるようになり、年次有給休暇の取得日数も増えました。仕事に余裕が生まれ、新しいことにチャレンジする時間を確保できるようになりました。

35名を数える正社員の平均年齢は33歳、その内、女性従業員の割合は3割を超えています。結婚や出産、自宅新築などに踏み切る若手社員も少なくありません。

また、公園管理事業を中心に高齢者の雇用も推進しています。定年は75歳に引き上げられ、高齢者に生きがいや遣りがいの場を提供しています。

取材対応

常務取締役 大沢将士 様

営業企画部長 井上優美 様